



茅ヶ崎パーク (ヘッドランドビーチ) (茅ヶ崎市)



第 236 号



明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが五類に移行され、日常生活や市民生活において多くの活動が、コロナ禍以前の水準に戻ることとなりました。

更生保護の領域でも、保護司の地域活動、組織活動、社会を明るくする運動をはじめとする多くの活動を「再起動」するため奔走する一年となりました。

この間、再起動に伴う新たな問題やコロナ以前から引きずる課題が浮かび上がってきましたが、一方で、人と人が直接に会い、集い、時に膝を突き合わせて議論し、あるいは共に汗を流して活動する大切さに改めて気付かされました。いわば更生保護の活動の原点、基本中の基本を再認識した一年でありました。

さて、本年は、更生保護制度施行七十五周年を迎えます。

先達の切り拓いた三四半世紀の歩みを振り返り、次の四半世紀、正に百年の計に思いを巡らして、第一歩

を踏み出す一年であります。

私は、昨年来、法務本省に置かれた「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」の構成員として、「時代の変化に適応可能な保護司制度の確立に向けた諸課題」について、全国の保護司、学識経験者等と議論を重ねております。本年は、報告書案の作成に向け、議論を深め、集中していくためにも、これまで以上に活発に、地に足の着いた意見を述べて参る所存です。

目を転じて、我が神奈川県の更生保護もまた種々の課題に直面しています。しかし、従来にも増して仲間づくりの励み、志を同じくする仲間と心を一にして考え行動していくなら、決してひるむことはない。そのようなに強く信じております。

なによりも、この一年を、次の四半世紀につながる人づくり、組織づくりのため、保護司をはじめとするすべての更生保護関係者とご一緒に知恵を絞り、汗を流していきたいと思っております。

本年もよろしくお願い申し上げます。